

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができる力がついている。
- 図表を使いながら、工夫して自分の考えを伝える力がついている。
- 日常の学習で、構造的なメモを工夫してとったり、分析したりすることに課題がある。

【算 数】

- 問題文や図表をもとにして立式・計算する基本的な力が身に付いている。
- 資料から条件に合うものを読み取る力がついている。
- 複数の情報から必要な情報を選択する問題に課題が見られる。

【理 科】

- 実験・観察の結果を根拠をもち、説明したり条件を変化させた時の結果を類推したりできている。
- 電流が作る磁力について、電磁石の強さと巻き数の関係についての知識が身に付いている。
- 身の回りの金属について電気を通したり磁石にひきつけられたりするものがあることについての知識・理解面に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 役に立つ人間になりたいや地域や社会のために何かしたいなど協働する力が身に付いている。
- 自分の将来の夢や目標をもち、何事にも粘り強く挑む力が身に付いてきている。
- 自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなど主体的に学習活動に取り組むことに課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・多様な問題に触れる朝タイムや土曜宿題の実施
 - ・全校での授業改善の推進（表現力育成やICTを使った授業）
 - ・国語科、算数科で定着が不十分だった内容の重点指導
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・ICTを効果的に使った授業づくり
 - ・単元末学習や年度末学習の課題の内容や進め方の見直し

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施
 - ・全校での名人の取組（ノート名人、発表名人等）
 - ・児童会活動を中心とした主体的な取り組みの場の設定
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・タブレットドリルなどのICTを活用した一人一人の実態にあった学習の推進
 - ・総合的な学習を中心とした、自分で課題をもち、解決していくことができる場の設定